



「今にも飛びそう！鳥好き必見の
バードカービング講座」

バードカービングの講演会に、13名の方が参加してくれました。講師の青木さんは、シジュウカラを題材に、彫る工程を順を追って丁寧に説明してくださり、工程ごとの見本も用意してくれて、とても分かりやすい内容でした。「『ツピー、ツピー』と鳴いているのは、身近なシジュウカラです。胸の模様がネクタイみたいなんですよ」と、ちょっと笑える話も。

さらに、名古屋市科学館で開かれた特別展「鳥〜ゲノム解析が解き明かす新しい鳥類の系統〜」のスライドを見せてもらい、翼の構造などの標本写真も紹介。作品をつくる前にここまで調べるのか、と感心しきりでした。

実演では、グラインダーや焼きごてを使って、羽根を一本ずつ削り出していく様子を間近で見せてもらいましたが、その手間と技の細かさには驚くばかり。「これは本当に鳥が好きじゃないとできないね」と、参加者の皆さんも感心されていました。

会場に展示されたカワセミやシジュウカラの完成作品は、今にも「バサッ」と羽ばたいて飛び出しそうなほどリアルで、思わず見入ってしまうほど。鳥の特徴をよく観察し、丁寧に再現された姿は、まさに芸術品でした。

青木さんが紹介してくれた「藪内正幸美術館」の話題では、「何時間でも見ていられる」という熱い言葉に、ウイスキー工場には行ったけど、美術館にはまだ…という方もみえ、興味を持たれたようでした。

鳥の世界の奥深さを知り、ちょっと“鳥沼”に足を踏み入れた、そんな楽しい講演会でした。明日から、スマホを見る目線を、空に向けてみようと思いました。

報告書
2025

8/8
(FRI)

2025



野府川河川浄化活動
団子がつなぐ自然の輪

▼青木豊彦 氏

